

長い間のご支援をありがとうございました

NTT木下争議は解雇から34年を超える闘いでしたが、皆さまのご支援のもと、今日まで闘い続けることができましたことを心から感謝申し上げます。

何とか早期の解決を図ろうとNTTとの接触を図っていく中、NTTから会うとの回答を得て、議員事務所秘書と交渉を持つに至りました。しかしNTT側からは、労務政策の根幹に関わることであり労務担当は会うことはできないとして、秘書室との対応で、その結果として、NTTの対応は何ら変わることはないというものでした



この報告を聞き、人生をかけた34年の闘いのいろいろな思いがよぎりました。職業病にり病させた責任を一切取らず、たった一枚の紙切れで職場から放りだしたことを許すことはできず、絶対に許せない思いで、やむにやまれず闘いに立ち上がったこと、多くの団体、仲間の皆さまのご支援を頂く中で、NTTで働く夫と一緒に闘うことができたこと、そして、闘いのなかで、結婚して16年目に子供を授かったことです。配転先では、「妊娠しても流産するよ」と主治医に言われたほどの職場状況で、妊娠をあきらめていました。裁判闘争の真ただ中、予定日より1か月早く生まれました。裁判期日の目には裁判所に連れて行き、母親に面倒をみてもらい、終わるとすぐに母乳を与えたこともありました。

皆さまに可愛がって頂いた娘は25歳になり、社会人として福祉の職場で働いています。私ども夫婦の両親はすでに亡くなりましたし、大変お世話になった主任弁護士をはじめ、励まし支えて頂いた諸先輩の方も亡くなられ、言葉では言い尽くせないほどに34年余の月日の長さを感じています。

こういう思いの中、自分なりに精一杯闘い続けてきたし、できることはやりきったとの思いと、心身ともに限界を感じての終結の決断でした。

解雇され、精神的にも肉体的にもズタズタにされたのですが、人間らしい気持を取り戻すことができたのは、あきらめることなく闘い続けてくることができたからだと思います。

支えて頂いた多くの皆さまとの出会いは、私にとって大きな財産です。NTTに対し、「頸肩腕にり病させ解雇した」責任を取らせることはできず、NTTに対する怒り、くやしきは消えることはありませんし残念でありませんが、34年間を振り返り、いろんな方のお力添えですべてやりつくし、終結しても闘いに悔いはなしとの結論に至りました。自分に恥じることはない、胸を張って天寿を全うするまで生きていきたいと思っています。

皆さまの力強いご支援に感謝するとともに、これまでの闘いを糧として、今後とも微力ながら皆さまの闘いに共闘していきたいと考えています。

本当に長い間のご支援をありがとうございました。

2015年11月5日

木下孝子